

デジタル教科書の効果的な活用の在り方等に係る調査研究 デジタル教科書の効果的な活用の在り方等についての実践事例集について

1. 実践事例集の目的

- 学習者用デジタル教科書及び学習者用デジタル教科書に付属する教材（以降では「デジタル教科書等」とする）の活用事例を収集し、効果的な活用の在り方や留意すべき事項をまとめた実践事例集を作成する。
- 学校現場及び教育委員会等によるデジタル教科書の導入や活用方法の検討に資するよう、具体的かつ実用的な内容とする。

2. 作成方法

- 学校や教育委員会へのインタビュー調査を実施。インタビュー調査に基づき、以下のような観点を盛り込み、事例を 15 件程度作成。 具体的な紙面イメージは別紙参照。
 - ✓ デジタル教科書等を活用した授業のモデル例
 - ✓ デジタル教科書等の具体的な活用のポイント
 - ✓ デジタル教科書等を活用した授業形態の分類
 - ✓ モデル例で活用されたデジタル教科書等の機能の分類
 - ✓ デジタル教科書等の活用による効果
 - ✓ デジタル教科書等の活用にあたっての留意点 等
- 件数の内訳は小学校 6 件、中学校 5 件、高校 2 件、特別支援 2 件程度を想定。
- 幅広い活用事例、多様な効果が収集できるよう、デジタル教科書の活用実績を持つ学校に対して事前にアンケートを実施。 その結果を踏まえ、できる限り内容の重複を省き、事例選定を行う。
- 授業の事例に加えて、授業改善方策や導入にあたっての留意事項等のテーマを設定し、有識者に執筆いただいたコラムを盛り込む。

3. 作成上の方針、留意点

- 新学習指導要領を踏まえ、「主体的・対話的で深い学び」等の実現に資する授業づくりも意識して整理する。
- 児童生徒の活用の様子や、タブレット等の画面の写真を盛り込み、実際の活用を想定しやすい内容とする。
- 事例は主要 5 教科別に作成するが、デジタル教科書の導入状況及び学校での活用実績により、調査対象外となる教科がある。
- 授業の事例は実際の授業又は指導案に基づき作成するが、有効と判断される場合は、複数の取組を統合した事例として提示する（その旨は別途明示する）。

小学校第6学年、国語（物語文）

書き込み機能の活用により、
児童の考えの形成を促し、対話的で深い学びを充実本事例の
特徴

デジタル教科書への書き込み機能を活用することで、児童の書き込み作業の時間と労力を省略することが可能となり、児童が自らの考えを形成することができる。また、少人数でのグループ学習を積極的に行い、対話的で深い学びが実現できる。

	活動内容	活用ポイント／留意点	
導入	一斉学習 ■ 前時の振り返り ■ 課題の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回児童に書かせた授業の感想を振り返らせる。 ・ 電子黒板に本時の課題を提示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 紙のノートに記載させた前回授業時の感想を確認させる。 ・ 児童の考えの形成と対話につながるよう、適切な課題設定を行う。 <p style="text-align: right;">留意点 1</p>
	個別学習 ■ 読解	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主人公の対立する二種類の感情を示す部分を、マーカー機能を使って色分けさせる。 ・ マーカーを踏まえ課題についての自分の考えをノートに書かせる。 <p style="text-align: right;">【画像1】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 書き込み機能でひいたマーカーは容易に削除できるため、積極的な書き込みを奨励する。 ・ マーカーをひく作業が容易となるため、児童が主人公の感情について、考えを形成する時間を十分に確保することができる。 <p style="text-align: right;">活用効果 1</p>
展開	協働学習 ■ グループによる話し合い ■ 学級全体による話し合い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4～5名のグループを組ませる。 ・ 教科書の文章を抜き出し、付箋を作成するデジタル教材を使用させ、話し合いの過程を表現させる。 <p style="text-align: right;">【画像2】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書の文章を抜き出し、付箋を作成するデジタル教材により、対話を通じて考えが変化していく様子が見える化させる。 <p style="text-align: right;">【画像3】 活用効果 2</p>
	個別学習 ■ 自身の考え表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループの話し合い結果を電子黒板に投影しながら、学級全体で自由に議論させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童が発言しやすい雰囲気醸成する。 <p style="text-align: right;">留意点 2</p>
まとめ	個別学習 ■ 自身の考え表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 話し合い結果を踏まえ、自分の考えをノートにまとめさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループ及び学級全体の話し合いを踏まえて、自分の考えの変遷の有無に着目させる。
	一斉学習 ■ 朗読	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童1名を指名し、朗読させる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時で理解した主人公の感情を、朗読で表現するよう促す

【画像1】
マーカーされた
デジタル教科書画面

【画像2】
電子黒板に写された各児童の
タブレット画面

【画像3】
教科書の文章を抜き出し、
付箋を作成するデジタル教材
で児童が文章構造を
整理している画面

※授業の指導案等を参考にして作成していますが、実際の授業の流れとは異なります。

使用機能	拡大縮小	共有	反転	音声読上	総ルビ	書込	保存
デジタル教材	作業支援ツール	動画・アニメーション	ドリル・ワーク	参考資料			
ICT機器	電子黒板	実物投影機	指導者用PC・タブレット	高速インターネット/無線LAN			

機能の活用により期待される効果

活用効果 1

書き込み機能により、登場人物の感情の理解が容易となり、児童の考えの形成が促される

児童の書き込み
(マーカー箇所)の様子
※前頁とは異なる画面

- 書き込み機能では容易に書き込みを削除することが可能となるため、間違ふことを恐れずに教科書に書き込む活動が促され、児童が物語文の登場人物の感情の動きをより容易に理解することができる。
- 書き込みが容易となるため、従来書き込み作業に充てられていた時間や労力が省略可能となり、従来よりも考えを形成することに児童を集中させることが可能となる。

活用効果 2

教科書の文章を抜き出し、付箋を作成するデジタル教材の活用によって、対話的で深い学びを実現

教科書の文章を抜き出し、
付箋を作成するデジタル教材の
画面の様子

- 教科書の文章を抜き出し、付箋を作成するデジタル教材により、グループ内で提出された意見や話し合いの過程が可視化される。そのことによって、他者の考えを深く理解することが可能となる。
- グループでの話し合いや学級全体の話し合いの過程が可視化されることで、物語文における児童の理解がより深められ、対話的で深い学びを充実させることができる。

活用上の留意点

留意点 1

考えの形成や対話の充実につながる課題設定

- デジタル教科書等の機能を活用することで児童が考えの形成や対話を十分に行うことが可能となるため、児童の探究や対話の充実につながるような内容の課題を毎時設定することが重要となる。

留意点 2

全児童の授業参加を促す授業運営

- デジタル教科書等の活用により、各児童が自身の意見を発表することが容易となるため、全児童が積極的に授業中に発言することができるよう、児童が発言しやすい授業運営を行う。

担当教員の声

(実際に授業を御担当された先生に記載いただく予定です)